

橋梁架設をDXで“見える化”

TKD建設ホログラム

当社では、3Dモデルを現地投影し、『見える化』することで、
計画の適合性や安全性の確認をしています。

また、地元の方々への工事説明や、若手技術者の育成や意識向上などにも活用しています。



MRデバイスによる3Dホログラム投影

MRデバイス



バーチャル
メニュー表示

メニュー表示



3Dモデル



高田機工株式会社

MRはデジタル画像を現実存在するように映像化する技術です

MRは、Mixed Reality(複合現実)の略称で、AR(拡張現実)とVR(仮想現実)を併せた最先端の映像技術のことです。現実世界の形状特徴をデバイスが把握し、それらにデジタル映像をぴったりと合わせることができます。すなわち、工事現場や会議室など、あらゆる場所・空間で「あたかもそこに存在するように」映像を見ることが可能です。

VR 仮想現実

Virtual Reality

“仮想”世界の中に
飛び込む



溶接作業



VRゴーグルで仮想世界に入り込みます。見える映像は全てデジタルです。

MR 複合現実

Mixed Reality

現実世界と仮想世界を“複合”する



MRデバイスで複合世界を見ることができます。近づいたり回り込んだりすることができます。

AR 拡張現実

Augmented Reality

現実世界に仮想世界を
“拡張”する



スマホなどを通して現実世界に移した仮想世界を見ることができます。近づくことはできません。



作業俯角の確認



クレーンや機材の配置検討

活用事例



クレーンの据付箇所の地形確認



イメージ共有(架設状況)

【大阪】〒556-0011 大阪市浪速区難波中2-10-70 Tel.06-6649-5122
【技術研究所】〒649-0111 和歌山県海南市下津町方1375-1 Tel.073-492-4971
E-mail device@takadakiko.co.jp HP <http://www.takadakiko.com>

活用動画はこちら



TKD建設ホログラム

検索



<https://youtu.be/sPUCow0lyCE>